

しずつな



しずつなは、地域づくり活動の情報を地域のみなさまにお伝えするとともに、各チーム間の情報共有を目的として発行しています。



この絵はとあるまちづくりセミナーで“こんな町になったらいいな”というテーマで描かれたものです。さまざまな人がさまざまな取り組みをしています。でもみんなの思いはひとつ。自分が、家族が、友人が、ペットが、ここで暮らす人みんながしあわせに住みつづけたい町ではないでしょうか・・・

地域づくりの人々 「グルージャ盛岡」

これからの「地域づくり」は、コミュニティや団体の枠を越えた「地域で支え合う力」を強化することが求められています。ここでは地域づくりに関わる人・団体・NPO・企業などを紹介いたします。

プロサッカークラブの「グルージャ盛岡」。盛岡のチーム、という印象を持つ方もいるかと思いますが、雫石町との関係についてごぞんじでしたか？西山地区や御所地区で小学生向けのサッカースクールを実施しているほか、西根保育所やわかば幼稚園にも訪問し、子どもたちとの交流を深めています。(昨年は県内で通算160回の訪問スクールを実施したとか！)また、今シーズンより、ホームタウン(主な活動地域)に、雫石町ふくむ岩手県全域が追加され、今後ますます、地域スポーツの振興や地域の活性化にむけた活動が強化されていくことが期待されます！(古山)



グルージャ盛岡の選手たち



わかば幼稚園 訪問スクール

★グルージャ盛岡 ホームゲーム
4/1(日)・8(日)・28(土)
13:00 13:00 13:00
会場：いわぎんスタジアム

最新情報は
こちらで！



おらほの地域 「上西根行政区」



向井優美子さん

町では昨年、全74行政区を対象に地域の活動内容や課題、組織の状況をヒアリングいたしました。同行した私たちがそこで感じた地域の取り組みなどを紹介いたします。

集まった人たちが輪になって座り、おのおのの手には長い長い一本の数珠一。ぐるっと大きな円ができ上がり、その真ん中にいる方が唱える念仏にあわせ、時計回りに数珠をまわしていく。この「百万遍(ひゃくまんべん)」と呼ばれる習わしをヒアリングの際初めて知り、改めて向井優美子さんにお話を伺わせていただきました。上西根ではいまでも春と秋の彼岸に百万遍を行い、葬式があった際にも同じように念仏を唱えているそうです。先祖を敬い偲ぶ想いを込めて続けられている百万遍。「先祖代々こうやるものと受け継いできただけで、いつごろから始まったかはわからない」と向井さん。途絶えてしまっている地域もあるなか、上西根にとっての百万遍は、皆が支えあって暮らしていくため、集落の結束を強くする場としても、大切な習わしになっているのだと知りました。「みんな、ひとりでは生きていけないからね。」そう語る向井さんの言葉が、とても強く印象に残りました。(古山)



昨年春の百万遍
(写真提供：中村総さん)

【お詫び】

先日発行いたしました「御明神マップ」につきまして、小学校名の表記に配慮を欠く箇所がございました。関係各位にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。雫石町・雫石町地域づくり会議メンバー一同

協力隊一言日記



住みつづけたい町雫石！
もっばら私の課題は妻をどう
雫石に住み続けさせるかです(汗)
増谷光記



笑点メンバーでは林
家木久扇師匠が一番
好きです。田山まり

立派な天体望遠鏡をいただいたので、星空観察会をしたいです。
秀島杏奈



協力隊になり、あっという間の一年でした。日々勉強。。。今後ともよろしく願いいたします。
古山裕二



住みつづけたいまち

“地域の組織・活動ヒアリング調査結果報告会”を開催しました。そこではヒアリングの結果や地域づくり会議、協働推進条例の紹介など様々な取り組みを報告させていただきました。いろいろありますが目指すところは同じ“住みつづけたいまち雫石町”です。

住みつづけたいまち
雫石町

ヒアリング報告会

ヒアリング結果報告

- 各行政区で、行事の相衝突し、もと来に地域活動ができるかも？



交流タイム
他行政区の人たちと
みんなぞアットーク!

お名前	行政区
役職	地域ご 困りごと

行事参加者は
いつも同じ顔ぶれ

役のなり手が
いなくて困る

もっと具体的な
解決方法が
知りたかった。

地域に入る
きっかけがない

どこも悩んでいることは
一緒なんだなあ

現状は分かたけど、
自分の仕事に
忙しすぎるから...

他地域の話が
聞けて良かった

ちづ
ま

地域運営組織の事例紹介

- なんのために 地域の生活せくらしを守るため
- だが 地域の人々が中心となって形成され
- なにを 地域の課題解決に向けた取組を
- どのように 持続的に実践する組織

協働とは

複数の団体が1つの
目標を達成するために
それぞれの役割を
自覚して参画し
一緒に取り組むこと

協働推進条例



誰もが住みやすい

地域づくり会議

- 住民有志が中心となって形成
- 住民主体で地域課題の解決



雫石を盛り上げたい!

そんな
防災への
活動中心には

今の活動を
続けたいな

もと人数がいれば
活動の幅も
広がるのに。



旗あげアンケート

Q.10年後、
自分の地域は大丈夫?
A.ちょっと不安
最多の回答